

CASBEE とっとり

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新案 (標準版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-Nch_2008(v.3.2)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	米子市第二学校給食センター(仮称)	階数	地上2F
建設地	鳥取県米子市流通町158番地21, 159	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	40人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,800時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2014年3月3日
敷地面積	5,470 m ²	作成者	清水幸憲
建築面積	2,128 m ²	確認日	2014年3月5日
延床面積	2,458 m ²	確認者	清水幸憲
		外観/パース等	

2-1 建築物の環境効率率(BEE)ランク&チャート

BEE=1.2 ★★★★★

S:★★★★★ A:★★★★★ B:★★★★★ B:★★★★★ C:★

2-2 大項目の評価(L-チャート)

2-3 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比較したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR 環境負荷低減性能

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.6

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項

環境負荷の低減に取り組み、環境品質を少しでも高くし、建物の寿命を長くするように努めます。また、リサイクル商品を少しでも多く採用し、地球資源の有効活用を考えた設計とします。

音環境 音響性能は標準的な構造としています。外皮性能は二重ガラス開口部や外壁に断熱パネルを採用し、外部から熱の進入に対して配慮しました。有害な化学物質は全面的に使用しない設計としています。

温熱環境 居室に出来る限り自然採光を入れるように、トップライトを設けました。また、太陽光発電設備を取りいれ省エネルギー努めています。

空気環境 節水コマ等水資源保護に努め、鳥取県グリーン商品を出来る限り採用しています。また、基礎の型枠にはラヌ型枠を採用し地球環境の負荷を低減します。

その他 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。

敷地の条件に応じて適切な緑地を設けました。

4 重点項目	重点項目	得点	取組み度
県産材利用の推進	4点 / 15点	133	
鳥取県認定グリーン商品利用の推進	5点 / 25点		
自然エネルギー変換利用の推進	5点 / 25点		
敷地内緑化の推進	点 / 25点		
合計	14点 / 90点		

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Qi: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率率)
 ■ ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される